

● 2003年12月定例会一般質問

高木質問

民主党の高木真理です。通告に従い、一般質問をさせていただきます。

今回は、さいたま市政への市民意見の反映方法について伺います。

1) 岩槻合併問題をめぐるさらなる市民意向調査について。

合併という自体は、それが例え編入合併であっても、自治体の存在を規定する根幹の重要問題であることは言うまでもありません。であるがゆえに、執行部におかれましても、何らかのかたちの市民意向調査を行うということで、市民への直接の問いかけが必要という認識に立って進めてこられたことと思います。

しかし、市民へのさらなる意向調査については、今議会での回答を伺うと、どうやらこれ以上行わないということのようです。私は、旧3市の合併の際、一市民として、どうして住民投票が行われないのかと強い疑問と不満を感じていました。そして、そう感じた人がいかに多かったかを、私は自らの選挙で多くの方々に接する中、感じざるを得ませんでした。

住民投票のメリットには、さまざまなものがあります。まず、投票するには判断材料が必要ですから、市や議員から十分な情報提供が行われ、市民一人ひとりが岩槻のことをよく知り、自分の住むまちの将来について考えることができます。

また、合併という市の重大問題に投票という方法で参加することにより、市政への参加意識が生まれ、まちづくりに積極的な関心を切り出すことができます。逆に行わないとすれば、せっかく市民との協働路線で市政に参加することに意欲を感じている市民が、「何だ、重要なことは結局市民は蚊帳の外か」と失望し、協働をあきらめてしまう危険をはらんでいると思います。

しかし、いずれにしる、今回住民投票は行われないようです。そこで質問です。

(1) 市民への意向調査に住民投票を採用しなかったのはなぜですか、理由をお聞かせください。

ア、やりたかったが時間がなかったから。イ、住民投票は、編入合併というテーマにそぐわない形式であるから。ウ、住民投票は、間接民主主義を否定するもので、議会が機能すれば十分だから。エ、さいたま市の市民意識は、住民投票の結果に責任を負えるほど成熟していないと考えたから。オ、その他。

以上の選択肢から選んで明瞭にお答えください。

(2) 住民投票を行わないことで市民意識、市政運営に、どのような影響があると考えていますか。

(3) さらなる意向調査はやらず、政治的、政策的、専門的判断が必要なため、あとは議会と相談とのことでしたが、議会が、さらなる意向調査を必要との結論を出せば対応していただける可能性はあるのでしょうか、お尋ねします。

2)に移ります。

住民投票に対するさいたま市の考え方について伺います。

次に、岩槻の個別案件を離れ、一般的な住民投票制度創設に対するさいたま市の見解を伺います。

この点については、昨日の日下部議員の質問に対する答えで一定の回答がなされたところではありますが、それによれば、さいたま市は代議制を第一義とするため、住民投票は補完的なものであり、議会制民主主義では解決できない状況が生じない限り実施しないといった趣旨のお答えがありました。

しかし、各地で行われている住民投票は、議会制民主主義での解決不能なばかりではありません。また、アメリカやスイスでは盛んに住民投票が行われておりますが、これらが議会制民主主義を否定している制度とはとらえられておりません。

政府の地方制度調査会でも、2000年の第26次答申で、住民投票制度化の検討を重要な課題とし、特に市町村合併については、まさに地方公共団体の存立そのものに関する

重要な課題であること、地域に限定された課題であることから、その地域に住む住民自身の意思を問う、住民投票制度の導入を図ることが適当であると言い切っています。国レベルでの法制化も検討されておりますし、自治体としても、制度化を果たすところが続々誕生しています。これらの前提に立って、改めて再度伺いたいと思うのです。

(1) さいたま市は住民投票制度そのものをどのように評価していますか。

(2) 6月議会で、岡議員から、住民投票制度を明記した自治基本条例について質問がありましたが、これに、一定の大都市制度運用を経た後、検討を行いたい旨、回答がありました。住民投票は制度化されると考えてよろしいでしょうか、再確認させていただきます。

また、時期は一定の大都市制度運用を経た後とのことですが、いつごろを想定していますか。これは、岩槻との合併が行われる場合は、一定の大都市制度運用に時間がかかり、検討が遅れるということになるのでしょうか、お尋ねします。

(3) 住民投票制度が条例化される場合ですが、今後のさいたま市では、合併という争点についても、市民が直接意見表明できるようになると考えてよいでしょうか。それとも編入合併の場合には、やはり行われないのでしょうか。

あるいは、さいたま市は、岩槻との合併を最後にするので、もう市民が合併に関する意見表明をする機会は訪れないという見解でしょうか、お答えください。

3) 区民会議の位置づけについて

今回の岩槻との合併についての市民意向調査はどのようなかたちになるのかと注視される中、結果的に区民会議にて実施されました。

私は、区民会議に大いに期待するものですが、正直、今回は驚きました。「あれっ」という違和感があったのです。区民会議は、主に区に関する議論を行う場ではないのか、区民会議のメンバーは、そもそも合併という問題で市民を代表するのにふさわしい選ばれ方をしていたのだろうか、市民一般に区民会議の認知度がまだ低い状態で、市民の意向は区民会議に聞きましたと言われても、果して市民は納得できるのだろうかなど、さま

ざまな疑問がわいてきます。

今回の違和感は、なかなかうまい表現が見つかりませんが、例えて言うなら、憲法改正をやる、本当は憲法上国民投票が必要である。しかし、時間がないので、全国の市議会議員にアンケートをとって終わりにしましょうと言われるのと同じぐらいのちぐはぐさを感じるのです。枠組みとして違うだろうと、だれもが感じるのではないのでしょうか。

そこで質問です。

(1) なぜ今回の意向調査は区民会議を対象に行ったのですか。理由をお聞かせください。

(2) 先ほどの高柳議員の質問で、区民会議の位置づけの答弁があったところですが、それによれば、区民会議の本来の役割と今回の意向調査が異なることが明確になりました。今後もこのようなことは起こり得るのでしょうか、お答えください。

私は、区民会議のこれからに期待するがゆえに、余り役割が曖昧になったり、変に行政に恣意的に使われているように市民に見えてしまったら、もったいないと思うのです。大きく育てていくためにも、しっかりとした位置づけによる運営が必要と考えます。

いずれにしろ、私は、このまま市民が知らないうちに岩槻と合併していたという事態は何としても避けなくてはならないと強く思います。合併するにしても、しないにしても、市民一人ひとりが問題を十分理解する必要があります。そして、そのうえで市民が意見を表明できるようにすべきです。時間がない、わからなくても何でもいっしょになろうでは、そのあとどんなまちづくりをしていくのかも見えてこないし、市民としての一体感を持つことも難しいと思います。

編入合併であっても、財政もインフラの整備状況も異なる地域との合併が、将来のさいたま市民に何の影響もないなどということはありません。

合併は複雑な内容を確かに含んでいます。しかし、それをわかりやすく市民に説明し、共に判断できるベースをつくっていく仕事こそ、議員、執行部、それぞれ市政に携わる者の使命ではないでしょうか。

以上、明確な答弁をお願いいたします。(拍手起こる)

○回答

○小宮義夫理事

御質問の1 さいたま市政の市民意見反映の方法につきまして、順次お答えいたします。

まず最初に、岩槻合併における、さらなる市民意識調査についての御質問でございますが、岩槻市との合併協議に係る住民投票に関しましては、議員から御指摘のありました「イ」と「ウ」に当たると思うのですけれど、編入合併であることや、間接民主主義制度を考慮した結果、市民の意向確認の一環として、区民会議において御意見を伺ったところでございます。

また、3市合併時になぜ住民投票を行わなかったという御質問等がございましたが、3市合併時には、各市で市民意識調査を行ったところでございます。その結果、市民意識や市政の運営に大きな影響を与えていないものと考えたところでございます。また、今回の合併協議に関しても、今後、協議する情報を積極的に市民の皆様に提供し、合併協議に対する理解の向上に努めてまいりたいと考えております。

また、今回、区民会議の委員さんから御意見をお伺いしましたが、今後の取り扱いにつきましては、議会とも十分協議し、検討してまいりたいと考えております。

次に、2) 住民投票に対するさいたま市の考え方の御質問にお答えいたします。

御案内のとおり、我が国の地方自治制度の根幹は、代表民主制であり、住民の意思の反映手段として、選挙で選ばれた長や議員が中心的な役割を果たすことを前提とした制度であると理解しているところでございます。

住民投票につきましては、さまざまな御意見がございますが、代表民主制が有効に機能しない場合、これは各議会等々で議論をし、議論が伯仲な場合等々があろうかと思いますが、そういう機能しない場合、また、代表民主制の権能を侵さない範囲内で補完的に用いるとの考えがある一方で、また、市民参加や住民自治の充実を図るという観点から実施すべきだと、そういう御意見もあるわけでございます。

御質問に触れられておりましたように、先般の第26次地方制度調査会の答申におきましても、住民自治の充実を図るという観点から、大変重要な課題であるとし、その住民投票の制度化に当たっては、住民投票の対象とすべき事項、また選挙で選ばれた長や議会の権限との関係、また、投票結果の拘束力のあり方等、種々検討すべき論点がある

ことで引き続き検討することとされたところでございます。

唯一、これをもとに法制化されたのは、御案内のとおり、合併特例法が一部改正されまして、住民発議に対しまして、その合併協議会の設置に対しまして、もしその長あるいは議会で否決された場合には、その合併協議会の設置に対し住民投票し、その住民投票の結果、2分の1の賛同が得られれば合併協議会の設置と、唯一これが法制化に、図られたわけでございます。

いずれにいたしましても、住民投票を含む自治基本条例等につきましては、まず、これらの課題の整理が必要であると考えているところでございます。

また、さきの岡議員の御質問に対しての答弁の中ではありますが、新たな住民自治条例が検討されるのではないかと御質問でございますが、私のほうでお答えいたしましたのは、一定期間の大都市制度を経た後に、新たな試みの一つとして自治基本条例等の検討がなされるべきではないかと考えを答弁したものでございます。

続きまして、次に、市民が合併についての意見を表明する機会についての御質問でございますが、今回の合併協議では、区民会議を通じて御意見を伺いましたが、市長への提案や任意合併協議会での創設いたしましたホームページ等でも、これらの御意見をいただいております。

今後は、協議の状況を十分情報提供していくとともに、その役割とまた、いろいろと議会とも十分協議し、対応をしてまいりたいと考えております。

最後に、3)の区民会議の位置づけについての御質問でございますが、区民会議の目的は、区と区民との協働、区の特徴、特性を生かした魅力あるまちづくりを行うとともに、区制に広く市民の意見を反映することを目的としており、また、機能としては、自主的な区のまちづくりと集団広聴の機能ということがあるわけでございます。

政令指定都市移行後まもない本市におきましては、現在、政令指定都市制度を活用した、いろいろなまちづくりを行う中で、さまざまなこのまちづくりの御意見を区民会議にはかりながら、また御意見をいただきながら進めているところでございます。

今回の岩槻市との合併につきましても、全市的なことでもあり、大変、行政区との関わりもございますので、今回、集団広聴機能として、各区における有権者たる区民会議の委員さんに、今後の合併協議会の参考とするために御意見を伺ったところでございます。

区民会議は、区と区民のまちづくりと活動への参画の場として機能していくものであ

り、今後も市といたしましても、区民会議の支援を推進してまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

高木再質問

再質問を行わせていただきたいと思います。

まず1点、答弁漏れと言いますか、私の趣旨の伝え方がいけなかったのかと思いますが、1)の中で伺いました「住民投票を行わないということで、市民意識、市政運営にどのような影響があったと考えていますか」というのは、旧3市のことではなく、今回との岩槻の合併に当たって、区民会議にしか聞かない、そして住民投票を行わないということについて、市民意識、市政運営にどのような影響があると考えているか伺いたいということです。

よろしく願いいたします。

○回答

○小宮義夫理事 再質問にお答えいたします。

先ほど、私の答弁の中で3市合併時のことと、今回の合併協に関してということ、連続してお答えしたわけでございます。

今後の合併協議に関しても、今後、合併協議に関する情報を積極的に市民の皆様へ提供し、合併協議に対する御理解の向上に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

高木再々質問

今の点に関して、再々質問ですが、今後理解を求めるということではなく、今回、住民

投票というかたちを行わないということで市民意識にどのような影響があるか、直接的なお答えでお願いいたします。

○回答

○小宮義夫理事 再々質問にお答えいたします。

今回の合併協議は、あくまでも入り口論でございまして、その合併の前提に当たりましての課題整理を行ったところでございます。

先の地下鉄7号線等で課題が整理されたと認識し、この今後、合併協議に入っていたきたいと思っているわけです。その中でいろいろと事務の一元化、あるいは新市建設計画、また、いろいろな合併事項等との情報を提供し、そして、その皆様にいろいろな角度から御理解をしていただき、また、議会とも十分協議して、今後進めていきたいと思っているところでございます。

現在、まだ入り口論ということで、御理解いただきたいと思っております。